



あした

明日もしあわせ通信 (第71号) 令和4年5月号

新しい職員紹介

令和4年4月から巡回相談員として勤務することになりました鎌田と申します。よろしくお願いします。簡単な自己紹介をと思いつつも、人様に紹介できるようなものは何もなく、今、思いついたことを少し書かせていただきます。

長年、教員をしておりましたので仕事以外のことにはあまり縁がなく、世間にもめっぽう疎いのが正直なところ。時間的に少しゆとりができたので、まずは、ほとんど放置状態の自宅の点検と猫の額ほどの家庭菜園の充実に力を注ぎたいと思っています。特に、新鮮で無農薬の野菜作りを目指したいので、土作りや効果的な育て方について教えていただけるとありがたいです。

もう一つ、最近考えていることは、人生の3分の2を過ぎた今、残りの人生を豊かにす

るために、あらためて健康でありたいなということです。

昨年度まで勤めていた小学校では、成長期の子どもたちの健全な発達に大切なキーワードを「体力」、「姿勢」、「栄養」、「睡眠」とし、学校や家庭で日々努力して取り組んでいました。老年期の自分にもあてはまるはずであり、まずは「睡眠」の改善から取り組んでみようと思っています。これまでの生活習慣で睡眠時間が短いことに気付き、ちょっぴりですが、早寝、早起き、快眠を実践して頭すっきり、お肌つやつや、見た目も体の中も若返りを目指します。

(K・K)



適応指導教室「はばたき」 「一段ずつ心の階段を上っていこう」

新学期がスタートして1か月が過ぎました。新しい生活への緊張からお子さんの中には疲れが出て、心身の不調を訴えている子はいませんか？

子どもは「よし、新学期になったので今年から頑張るぞ。」と張り切って心の階段を上っていきます。

数週間すると、1段ずつ慎重に登っていた階段を「もっと頑張らなくては。」と焦りも出て2段、3段飛ばしに突っ走って上がってしまいがちになります。しかし、あるとき急に心が疲れて、学校に行きにくくなることがあります。

そんなときは焦らず心のスピードを緩め、立ち止って一段ずつ自分の気持ちを確認しながら上る慎重さも身に付けてほしいと思っています。

人生に近道はありません。こつこつと努力をして自分の足で一步ずつ確認しながら上っていく、そんな人になってほしい。1年の間には、つらいことも多くあると思います。そんなときは心と体を休めて元気を取り戻し、また一段ずつ階段を上ってほしいと思います。焦らずこつこつと・・・。

不登校や適応指導教室に関する相談の連絡先 **はばたきのTEL 089-989-5021**

子どもの躰、どうするの・・・？

「小学生以下の子どもはお断り」・・・とある焼肉店。なぜ！？

店主の話によると、子どもが大きな声で「この肉まずい」と叫んだり、立ち上がって他のお客が食べているお肉を「これがい」と言っ指で触ったりするそう。その光景を見ても親が注意することも叱ることもないそう。「なぜ、そんな時に叱ることができないのか」と訪ねると、「人前で大きな声を出して叱ると虐待しているのかと思われたり、言っても言うことを聞かなくなったりするから・・・」との返事が返ってくる。そのTV番組では、躰のできない親が増えている・・・と報じていた。

叱らなければならない時にしっかり叱る

ことができない今のご時世、なんとももどかしい。

今、子どもの躰は保育所で行っているそう。その様子もTV番組で流れていた。靴を脱いではいるときの靴の並べ方、ごはんを食べるときの箸の持ち方等、保育所の先生が分かりやすく丁寧に教えていた。これって、保育所ですべきことなの？本来は家庭ですべきことではないのかな・・・？

三世代家族から核家族化へと家族形態も大きく変化し、身近で子どもに関わる大人が減っている。今こそ時に厳しく、そして優しい祖父母の眼差しがほしい。(K・H)



《センター長のつぶやき》

悪魔の囁(ささや)き

20世紀は戦争の世紀と言われるほど大きな大戦があった。それを乗り越え21世紀を迎えた。だれもが、21世紀は戦争のない世紀になって欲しいと願っていた。あちこちで戦争は続いていた。

今回は、核の脅威をちらつかせ、本当に使用するのではないかと囁かれはじめた。対抗するために、「核の配備を。軍事費アップを」と囁く声がある。

広島・長崎から77年。
「だからこそ核の廃絶を。核兵器禁止条約をいち早く批准し、日本こそそのリーダーとなるべき」と、なぜならないのか。

と興奮していると、
散る桜に起こされ、
夢からさめた。



(DOIG)

《発達支援巡回相談》

NHKの幼児番組「おかあさんといっしょ」に「ガラピコプ～」というコーナーがありました。

主人公のチョロミーは明るく元気いっぱいの女の子。おっちょこちょいで、失敗や忘れ物が多いのですが、ムームーやロボットのガラピコに助けられながら楽しく過ごしています。ガラピコの不具合を治してあげたいとチョロミーは博士になりたいという夢を持ちます。でも、実はガラピコは大人になったチョロミーが夢を叶えて博士になり、作り上げたロボットでした。タイムマシーンで送られてきたと明らかになるのです。ガラピコの背中ボタンを押すと、「チョロミーへ、ちゃんと大人になり夢を叶えることができたよ、失敗も嫌なこともたくさんあるけれど大丈夫。」とメッセージが…。

どの子も失敗があっても大丈夫、大人になれると応援してくれているようで嬉しく思えた最終回でした。(A)

伊予市子ども総合センター

〒799-3127 伊予市尾崎3-1

☎989-6226

伊予市総合保健福祉センター2F